

2025年7月20日作成

第 1.0 版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

Stanford B 型大動脈解離に対する STABILISE TEVAR の有用性に関する研究

1. 対象となる患者さん

2015 年 4 月～2025 年 9 月までに奈良県立医科大学附属病院・松原徳洲会病院・和歌山県立医科大学附属病院で胸部大動脈解離に対してステント内挿術 (TEVAR) を受けられ、大口径ベアステントを使用した患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学 岩田 菜子

3. 研究の目的と意義

大動脈解離に対するカテーテル治療は、患者さんにとって低侵襲な治療方法として、ますます発展を遂げています。胸部大動脈解離に対するステントグラフト内挿術のうち、大口径ステントを用いたカテーテル治療は大動脈の偽腔を縮小する効果が期待されています。

大動脈解離に対し、安全かつ効果的に有効な治療ができることを検証しています。有効な治療かどうか、安全な治療かどうか、治療前後の画像を評価していきます。

この研究により、大動脈解離に対するステント治療の選択肢が増えることが期待されます。

4. 研究の方法

対象の患者さんのカルテから情報を収集、画像を参照します。

研究協力機関からの情報は他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないように情報を加工した状態で奈良県立医科大学附属病院に提供されます。

5. 使用する情報

診療情報：診断名・年齢・性別・既往歴、発症日、発症起点、手術日、術後合併症の有無、有害事象発生率、CT 画像、血管造影画像

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 03 月 31 日

8. 研究機関

研究責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学 岩田 茉莉

研究協力機関

松原徳洲会病院 責任者 放射線科 阪口 昇二

和歌山県立医科大学 責任者 放射線科 生駒 顕

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学 岩田 茉莉

住所：奈良県橿原市四条町 840

電話：0744-22-3051

e-mail：rad@naramed-u.ac.jp